

II 水路周辺の生物

片倉跡地の熊川分水の生きもの

2010年8月21日(土) 天気 ☀

①植物

- (イラクサ科) カラムシ・群生 ヤブマオ・群生
- (タデ科) イタドリ・群生 ギシギシ・群生
- (イネ科) ススキ・群生 シマスズメノヒエ・群生 オギ・群生 シバ・群生 エノコログサ
- (キク科) ヨモギ(モチグサ) ヒメジョオン・群生
- (マメ科) シロツメクサ アカツメクサ ヤハズソウ アレチヌスビトハギ・群生 クズ・大群生
- (ブドウ科) ヤブガラシ ●(アカネ科) ヘクソカズラ ●(クワ科) クワ
- (トウダイグサ科) オオニシキソウ コニシキソウ ●(ドクダミ科) ドクダミ
- (ツククサ科) ツククサ ●(オオバコ科) ヘラオオバコ ●(ヒユ科) イノコズチ

★昨年見られたガガイモ(ガガイモ科)は未確認

②昆虫

●直翅類

- ・(バッタ科) オンブバッタ ショウリョウバッタ クルマバッタモドキ幼虫
- ・(コオロギ科) エンマコオロギ ハラオカメコオロギ
- ・(キリギリス科) クビキリギリス幼虫 クサキリ幼虫 ウスイロササキリ幼虫

●膜翅類 今年未確認

●半翅類

- ・(セミ科) ミンミンゼミ アブラゼミ ツクツクボウシの幼虫(?)
- ・(マルカメムシ科) マルカメムシ成虫
- ・(オオヨコバイ科) ツマグロオオヨコバイ幼虫
- ・(ヘリカメムシ科) ホソヘリカメムシ幼虫

●甲虫類

- ・(ゾウムシ科) コフキゾウムシ

●トンボ類

- ・(トンボ科) ミヤマアカネ成虫 ウスバキトンボ成虫
- ・(カワトンボ科) ハグロトンボ成虫



③昆虫以外の動物

●クモ類

- ・(ナガコガネグモ科) ナガコガネグモ♀成体2匹
- ・(コモリグモ科) ウツキコモリグモ 卵のうをおしりの糸いぼにつけている



報告者

栗原 仁さん(元小学校の先生)
昆虫博士と異名をとるくらい、とにかく昆虫には詳しいです。分からないことなどは、ていねいに教えてください。
現在は、福生市と羽村市の小学校で環境の授業のお手伝いをしたり、自然環境アカデミーに所属したりと、活躍を続けています。

※植物は、近藤富代子さん、中村生子さんの報告です。

III 段丘崖の樹林



- (ニレ科) ムクノキ ケヤキ エノキ
- (モクセイ科) トウスミモチ
- (クワ科) クワ
- (モクレン科) ユリノキ 別名ハンテンボク
- (クマツツラ科) クサギ・花ざかり

I 水路の生物

夏休みも終わりに近づいた8月21日(土)午前9時から、今年も、白梅分館主催「熊川分水探検隊」を実施しました。総勢42人で、森田製糸工場跡地(片倉跡地)の中を流れる熊川分水で、草花や生き物を探しました。昨年は、前日に水路の周りの草を刈りこんだためか、水生動物が数少なかったのですが、今年はその反省を生かして、草刈りを少なめにしたこともあり、珍しい生き物を見つけることができました。子どもたちはもとより、大人も、「あの頃の私にもどって」大喜び! 酷暑の中、楽しいひとときを過ごしました。普段は入ることのできないところなので、自然がそのまま残っているのです。すぐ隣には、新奥多摩街道をたくさんの車が行き交っているのですが、囲いの中の跡地は、時計が止まったままのような感じです。ひと時代前の光景を彷彿とさせるものがありました。この日に、見ることができた生き物と草花をご紹介します。



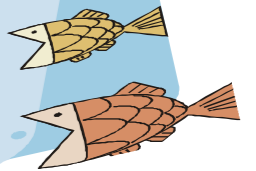
①水草

- 水中に根を張るもの(抽水植物)
 - ・(アヤメ科) キショウブ 群生
 - ・(イネ科) ツルヨシ 群生
 - ★昨年見られたサヤナカグサ(イネ科)は未確認
- 水中に全身を潜るもの(沈水植物)
 - ・(トチカガミ科) コカナダモ



②魚・カニ・貝

- 魚
 - ・(ドジョウ科) シマドジョウ・ドジョウ
 - ドジョウは、体長20センチの大型
- カニ(節足動物・甲殻類)・貝(軟体動物・淡水貝)
 - ・(サワガニ科) サワガニ
 - ・(タケノコカワニナ科) カワニナ
- 貝
 - ・(シジミ科) マシジミ(貝殻1つ)



③水生昆虫

- 川虫
 - ・(カゲロウ科) ヒラタカゲロウ類・モンカゲロウ類(幼虫1匹)
 - ・(トビケラ科) ニンギョウトビケラ(幼虫2匹)
- トンボ類(幼虫)
 - ・(エソトンボ科) オオヤマトンボ1匹
 - ・(サナエトンボ科) コオニヤンマ1匹
 - ・(カワトンボ科) ハグロトンボ3匹



「わかりの白梅分館の事業の予定」

○保育室併設講座

「本音で話そう 夫のこと、子どものこと、自分のこと」

保育室に子ども（一歳以上未就学児・ゼロ歳児は要相談）を預けて、親同士で学ぶ講座です。この講座では、参加者同士が子育てや夫との関係など、身近なことについて、じっくり語り合います。また、保育室の子どもたちの変化や成長についても、講座の中で取り上げて、皆で考え合います。たまには、心おきなく本音トークをしてみませんか？

日時十月二十一日～平成二十三年三月十日までの木曜日（十二月二十三日～一月六日はお休み） 午前十時～正午

場所白梅分館

定員十五人（市内在住の方）

申込み十月十三日（水）までに白梅分館に直接申し込んでください。

※保育室などの詳細については、十月一日号広報ふっさをご覧ください。



○陶芸教室

「手づくりの灯りで癒しの空間を築こう」

昨年度のこの教室では、黒泥を使って、落ち着いた感じの灯りをつくりました。細かい穴から漏れる光が、天井や壁に何とも言えない不思議な癒しの空間を作り出しました。



昨年度の作品から

今年は、信楽の白土をベースに、少し明るい感じの灯りをつくりたいです。色が変わるLEDライトを中に入れて、さらにおしゃれな癒しの空間を楽しみます。

メインの照明を落として、手づくりの灯りを楽しみましょう。身近なところから、ふっさライトダウンキャンペーンに協力します。

日時＜成形から施釉まで＞十月二十七日（水）、二十八日（木）、十一月十一日（木）午後一時三十分～四時三十分

＜素焼きと本焼き＞十一月十日（水）、十一月十四日（日）午前九時～午後五時
＜窯出し＞十一月十六日（火）午後一時三十分～十分

定員先着十人（市内在住・在勤の方）

申込み十月五日（火）午前九時から、材料費千円と共に白梅分館へ。

○親子の食育講座

今後いろいろな考え

います。すりだしょうどん体験、味噌づくり、お飾り教室、ジャガイモの植え付け体験など、先人の知恵に学び、地域に残る習わしの伝承を目的に実施の予定です。

白梅の運動場に設置したカマドで、薪を燃やして大釜にお湯を沸かします。うどんを茹でたり、大豆を煮たり、どれもこれも今では懐かしい光景となったものばかり。詳細は、「広報ふっさ」でお知らせします。ご家族おそろいでお楽しみください。



○おもちゃ箱音楽会



この音楽会も恒例になりました。赤ちゃんからお年寄りまで、どなたにも参加していただきたい楽しい催しです。大人が喜ぶ曲は、実は、子どもにとっても魅力ある曲なのです。サマーコンサートでは、「ラ・クンパルシータ」、「イパネマの娘」などの曲に合わせて、よちよち歩きのお子さんが、体を動かしていたのが印象的でした。クリスマス頃に開催する予定です。こちらも、「広報ふっさ」でお知らせします。

人生うたい語りのつどいのお知らせ

今年のテーマ「村から町へ 町から市へ 語り継ぎたい暮らしと自然」

各館の高齢者向けの事業（寿市民ひろば）の参加者が、学習の成果を発表する場です。本館は、童謡・唱歌のコーラス。松林分館は、健康で長生きするためヨガを通して得たことをお伝えします。私ども白梅分館は、福生の昔の風景写真とそれに因んだコーラスを背景に、思い出を語ります。第2部は、公民館で活躍しているサークルの発表の場です。白梅からは、「オカリナひびき」が出演します。皆さまのお越しをお待ちしています。

12月10日（金） 午後1：30～3：45

市民会館小ホール

— 編集後記 —

第7号の発行となりました。今回は、「私の暮らし、地域の歴史」はお休みです。夏休みに、片倉跡地で「熊川分水探検」を実施したので、そこで見つけた生き物や草花をご紹介します。昨年は見つからなかった「ドジョウ」でしたが、今年は20cmもある大きなものが見つかりました。♪ドジョウが出てきてこんにちは・♪ドジョウもあまりの酷暑に驚いたでしょうね。

ここにきてようやく季節が進んだように感じます。待望の「秋」を大いに楽しんでください。

発行：福生市公民館白梅分館

福生市熊川 559-1 ☎ 042-553-3454

FAX 042-530-2513